



平成26年4月18日（金）、北海道立教育研究所において、平成26年度北海道教育研究所連盟総会及び所長研修会を開催しました。

総会では、平成25年度の事業等についての報告及び平成26年度の事業計画、連盟委員の選出、協議事項をはじめ、全ての議案が承認されました。

また、総会に引き続いて行われた所長研修会では、前豊浦町教育委員会教育長 田中了治 様の御講演と、道研連の事業の在り方及び各教育研究所・研修センターの研修事業等の教員支援の取組状況やその在り方について協議を行いました。



総会の様子

所長研修会講演から

演題 「教育研究所・研修センターの所員・研究員の力量向上に向けて」

講師 前豊浦町教育委員会教育長 田中了治 様

■ 求められる管理職の資質

- 1 確固たる経営理念と具現のためのビジョン確立
- 2 校長の経営姿勢が浸透した学校（教職員）の姿
 - ・教育は「人格の完成」を目指すことを目的としているが、理論的なことばかり重視しても実践には生かされないことが多い。
 - ・よりよい教育活動を実践する上で、経営理念を明確化することが重要である。
- 3 保護者、地域と連動した教育活動の推進

■ 地教委に映る教育研究所・研修センターの姿

- 1 民間企業からの運営のヒント
- 2 前例踏襲からの脱却のために
 - ・思い切った改革は難しいものであるが、教育研究所・研修センターは前例踏襲を改善しようとしているか。例えば、多くの教育研究所・研修センターでは、刊行物を出しているが、これらは学校や教員のニーズに関わらず発行されていないか確認してほしい。
- 3 地教委、教育局との連携と信頼の確保
- 4 学校から見た教育研究所・研修センターの位置付け

■ 地教委との連携の強化のために

- 1 本町の特色ある教育活動から
- 2 結果責任、評価は外部の声を重視
 - ・各教育研究所・研修センターにも結果責任の追究が求められる。研修講座の内容や刊行物など事業の成果を所内に留めていないか確認してほしい。
 - ・各教育研究所・研修センターは、学校現場の声をしっかりと受け止めているか、現場の声を感知取る感性を磨くことも大切である。
 - ・研修講師となる域内の優れた人材を所員が自らの足で探す行動力も必要である。「シンク・グルーバリー、アクト・ローカリー（思いは崇高にして、行動は足下から）」をキャッチフレーズに活動していただきたい。
 - ・変わることを悪とする組織は生き残れないと言われており、変わるためには、明確な理念や道筋が必要である。教育研究所・研修センターにも創造型の組織への変換が求められるのではないか。
 - ・変化の激しい時代にあり、学校が果たすべき役割も変化しているが、教師の指導力、豊かな人間性、児童生徒への揺るぎない愛情と教育に対する情熱は、いつの時代も変わらないものである。
 - ・私達教育者は、地域、学校を移動するが「土地の人となるより、さわやかな風のような人となれ」を目指し、各地で子どもたちのために頑張ってもらいたい。
 - ・教育研究所・研修センターは、今後も、いつでも、どこでも、誰にでも対応することを目指してほしい。



前豊浦町教育委員会 田中教育長による講演の様子

所長研修会 主な協議内容

- 加盟機関の取組について
 - ・授業実践を取り入れた研修、教員のニーズに応じて講師を派遣する出前型の研修など、教員のニーズに合った、実践的な指導力の向上に資する質の高い研修講座を目指している。
 - ・研修受講後に追跡調査（アンケート）を実施し、研修内容を学校や管内で普及・還元している状況の把握を進めている。



所長研修会の協議の様子